

総裁 裁

第 號

昭和二十三年 四月 十七日

主査 事務官 参事官

法 制 局

長 官

(Handwritten signature)

主幹 書記官

理事官

事務官 参事官

別紙 夏時刻法案

起案上申ス 依テ別紙ノ通開議決定スル可然ト認ム

別紙ノ通

法律 令 案

32
40
15

裏面白紙

夏時刻法案

右
国会に提出する。

年 月 日

内閣総理大臣

内閣

夏時刻法

毎年、四月の第一土曜日の午後十二時から九月の第二土曜日に次ぐ日曜日の午前零時までの間は、特に中央標準時によることを定めた場合を除く外、すべて中央標準時より一時間ずつ、くり下げた時刻（夏時刻）によるものとし、四月の第一土曜日に次ぐ日曜日は二十三時間をもつて、九月の第二土曜日は二十五時間をもつて夫、一日とする。この法律の施行に關し、時間に關する他の法律の規定の適用について必要を事項は、政令で、これを定める。

附 則

この法律は、公布の日から、これを施行する。
この法律の適用については、昭和二十三年においては、この法律の本則において「四月の第一土曜日」とあるのは、「五月の第一土曜日（五月一日）」とする。

理由

日光をできるだけ利用することは電力の節約その他國民生活の全般に亘り、福利をもたらす所以である。この趣旨に基き、あらたに夏時刻の制度を設ける必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

裏面白紙

ある。
該の調査を要する必要である。ついで、この法律案を提出する事由の
ついで、議院を以て之を採択する。この議院に於て、もてがたの夏期
日光を以てする次で採用するついで議院の議決を以て勅令又は詔の全案

Summer-Time Bill

Every year, during the period from twelve (12) o'clock
p.m. of the first Saturday of April to zero (0) o'clock a.m.
of the Sunday immediately following the second Saturday of
September, the time advanced by one hour from the central
standard time (Summer-time) shall be adopted for all purposes
with the exception of those cases where the central standard
time is specifically used, and twenty-three (23) hours shall
make one day on the Sunday immediately following the first
Saturday of April and twenty-five (25) hours shall make one
day on the second Saturday of September.

In application of the present law, matters concerning the
calculation of hour necessary for the execution of other laws
may be provided by Cabinet Order.

Supplementary Provisions

The present law shall be put into force as from the
date of promulgation.

In effectuating for 1948, "the first Saturday of April"
in the main provisions of the present law shall be read as
"the first Saturday of May (1st of May)".

裏面白紙